

気象庁の沿岸波浪観測について

2024年7月22日
気象庁

気象庁の沿岸波浪観測について

気象庁では、沿岸海域における海難防止、船舶の安全航行及び沿岸施設の安全管理に寄与するため、全国6地点で沿岸波浪観測を行っています。

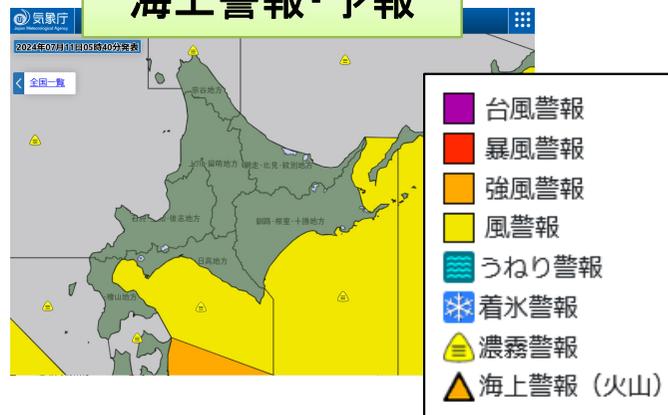
観測データ



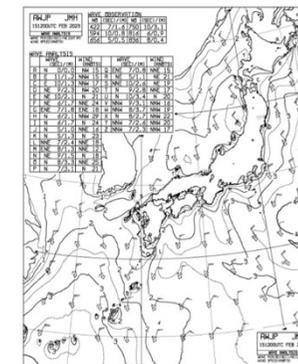
レーダー式沿岸波浪計



海上警報・予報



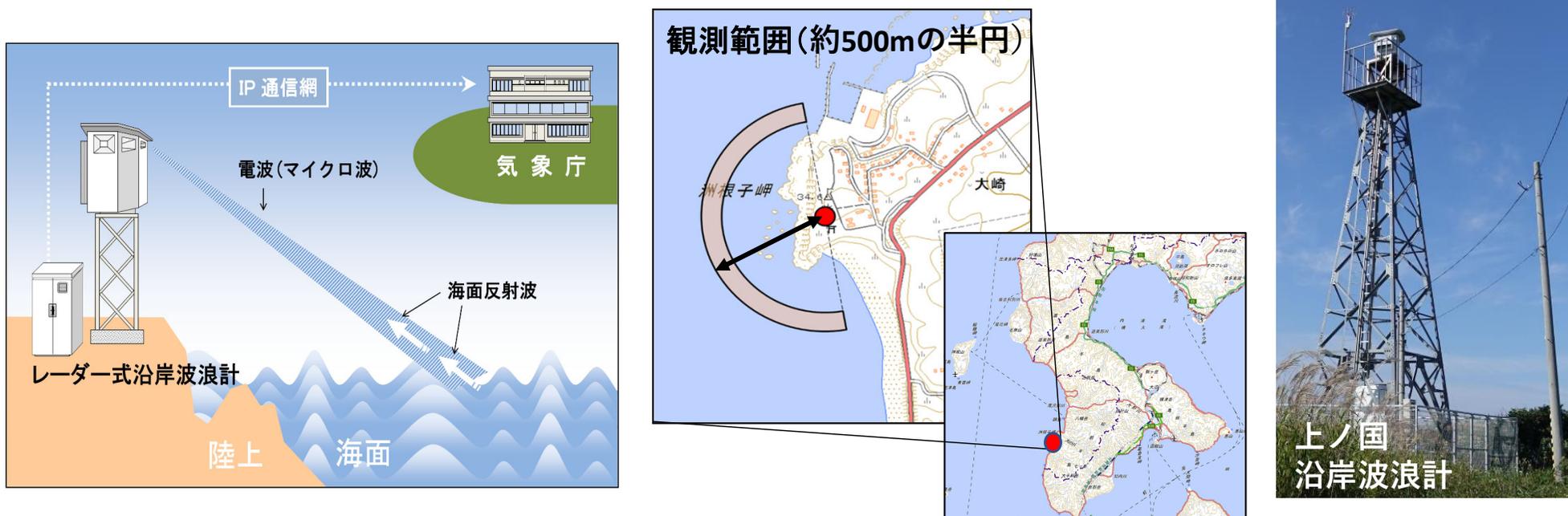
沿岸波浪図



市町村による避難情報の発令や住民の避難判断に活用

レーダー式沿岸波浪計の特徴

波浪計は、海岸の見通しの良い高台に設置しており、電波（マイクロ波）を海面に向けて発射し、波の高さを連続的に観測する装置です。



観測範囲に洋上風力発電施設が建設された場合、正しい観測ができない恐れがあります。そのため、当該地域で立地を計画されている場合は、事前に気象庁にご相談をお願いします。